

第 4 回 武蔵野市図書館運営委員会 議事録

日 時 平成 31 年 4 月 23 日（火） 17 時 30 分開会 19 時 30 分閉会

場 所 武蔵野市立中央図書館 3 階視聴覚ホール

出席者 委員 7 名

船崎委員長、赤羽委員、大津委員、金子委員、北本委員、
桂委員、安形委員

事務局 9 名

鎌田図書館長、柏倉吉祥寺図書館長、目澤プレイス副館長、
加藤課長補佐、前田課長補佐、秋庭係長、岡野係長、
佐々木主事、須藤主事

【司会】

定刻となったので、第 4 回武蔵野市図書館運営委員会を開会する。開会に先立ち、一点連絡をする。本会議は公開されており、定員を設けて傍聴を認めている。本日は、傍聴者はいないが、ご承知おきいただきたい。

次第に沿って、進行する。

1 委嘱状交付

【司会】

初めに、教育長より委嘱状の交付を行う。

新しく着任された委員は自席にてお受け取り頂く。

ー 委嘱状の交付 ー

【司会】

ありがとうございました。

引き続き、教育長よりご挨拶を申し上げます。

2 教育長挨拶

今年度新たに委員を迎え、第 8 期の途中であるが、新年度も始まった。議題としても予定されているが、図書館事業の評価について、外部による評価をいただきながら P D C A のサイクルをより良くしていくためには必須なことであると認識している。第 2 期図書館基本計画が策定され今後 10 年間の図書館の方向性が定まった。これに基づいて、図書館をより良くするためにもご協力いただきたい。中央図書館の運営体制についても、ご相談しながら

進めていきたい。

3 委員紹介

【司会】

新しく着任された委員よりご挨拶をお願いしたい。

【委員】

大学にて国際関係学部、実質的には図書館学課程を担当している。

図書館には 20 年以上勤めており、今回ご縁があり委員となった。図書館情報学の中でも機械よりが専門であったが最近では公立図書館の所蔵調査や昨年くらいから指定管理者制度についても研究・調査を始めている。少しでも力になれば幸いである。

【司会】

改めて、本日まで出席いただいている第 8 期委員をご紹介します。簡単に自己紹介をお願いしたい。

【委員】

昭和 63 年から平成 15 年まで市の図書館に勤めていた。今回新たな委員も迎え、活発な議論をしていきたい。

【委員】

よろしくお願いします。

【委員】

学校図書館と公立図書館の繋がりについて、考えていきたい。

【委員】

市民公募委員である。図書館のことはあまり詳しくないがみなさまといろいろ考えていきたい。

【委員】

市民公募委員である。武蔵野生まれ、武蔵野育ちである。途中結婚がきっかけで市外へ出たが、再び戻ってきた際に、武蔵野市の図書館に恩返しがしたくて応募した。引き続き頑張りたい。

【委員】

市民公募委員である。武蔵野市へ引っ越してきて5年ほどたつ。武蔵野市の事業であるいきいきセミナーの卒業生と一緒に図書館で読書会を行っている。月に1回開催し、4～5年続いている。毎回刺激を受ける良い会である。そういった経緯もあり、委員に公募した。

【司会】

もう一名委員がいるが本日欠席されている。計8名での委員会となる。ここで、教育長は公務の関係で、退席させていただく。

つづいて、本日の配布資料を確認する。

資料1「図書館事業に関する目標・指標」

資料2「平成31年度 図書館運営委員会 年間スケジュール（予定）」

その他「第3回 武蔵野市図書館運営委員会 議事録」

この議事録は、すでに皆さまに内容をご確認いただき、ホームページ上にアップされ、公開されているものである。前回会議から期間が空いたことから、前回までの議論をご確認いただくために配布したものである。

4 議事

【司会】

議事については委員長の方で議事を進めていただきたい。

【委員長】

次第に沿って、本日の議事を進める。

まず、議題（1）「図書館事業に関する目標・指標について」を事務局より、説明をお願いする。

【事務局】

それでは議題「図書館事業に関する目標・指標について」説明する。図書館基本計画の事業の推進体制の中で評価をし、達成するものである。様式について何かアイデアをいただけないかと意見を募ったところ、委員の方からアイデアをいただいた。そこで、事務局の方で参考にして作ったものが今回の資料1である。こちらの方は4月5月6月の3回で目標を確定していきたい。表の説明だが、こちらの表は図書館計画の実施計画で具体的な事業がNo.1 から No.70 までである。これらひとつひとつについて目標方針・実施について入れ込んだものである。こちらのほうはかなり細かく、ひとつひとつ

の事業単位になっているので、まずはこの表で検討いただき、重点目標や大きな単位での評価に関してはまたご意見をいただきたい。

この表のつくりについて。事業名・事業概要の部分については計画書の実施計画で各事業のところに記載してある事業概要と同様である。計画の前期5年、後期5年の実施の記載もそこから取っている。隣の難易度と実施に伴う障壁などがあるが、これは最終的なできあがりのものに関しては省いてもよいと考えている。課題等について記載をさせていただくと、目標値などに関して評価がしやすいかなということで記載をした。網掛けになっている振り返りは事務局の方で記載をし、運営委員会の方ではかるという流れで考えている。

数が多いのでまずはいくつか説明をさせていただいた上で意見をもらえればと思う。

まず

1 「利用困難者に対する配本サービスの提供」について。これは前期5年で検討/実施をし、後期5年で実施をしていく。具体的には①他市区の配本サービスの現状の把握②実施方法の検討ということで、実施予定については31から33までで、33から具体的な検討を行っていく。難易度については記載のとおり。障壁については利用条件の見直し、電算システムの関係、障害者サービスとの兼ね合いがある。

2 「団体貸出制度の充実」について。現在実施している団体貸出の充実を図り、病院や介護施設などに入居している高齢者などに対する利用サービスの向上を図る。目標・指標としては①利用希望施設の把握のため、調査は31年度から実施、②高齢者住宅等への団体貸出の実施 31年度から35年度実施。③病院等住宅以外の施設への調査についてはこれはまだ実施できていないので33年度から実施。

まず1と2だけ説明させていただいたが、これからこのような形で説明をしていくのでこれまでのところで何か不明点等あればご発言いただけたらと思う。

【委員長】

これまでのところで意見や質問等あったらお願いしたい。

【委員】

31から40は平成のままでよいのか。

【事務局】

出来上がりの時は変えていく。

【委員】

右端の運営委員会コメントというのが毎回出てくるが、これは毎年度一個一個の箱に毎回入れていかななくてはならないのか。

【事務局】

これは今までもあったのだが、全部には入っていなかった。評価の時に意見をいただき、それを参考にコメントをつけていた。

【委員】

今までこのような欄はあったのか。

【事務局】

あった。目標のところにはないが、最終的な評価のところには運営委員会コメントというのがあり、2～3行書いてあった。最終的にはそのような形になると思う。

【委員】

我々の委員会でのコメントとなると、個々のものもそうだが、重点取組で割と大きく分かりやすく項目を作っているので、どこまで今年度できているのか今後どうしていくのかなど、これをもう少し活用した評価の仕方をしてもらいたいのではないだろうか。項目も①～⑤はなしにして、P, 43 の3－1の（1）ぐらいでそれぞれどうだったかという評価も必要なのではないか。そのためにはこの個々のものが必要なかもしれないが。

【事務局】

めくっていただくと個々の実施計画の中に重点取組が埋め込んである。ただもう少しまとめて書いた方がいいかなと思う。

【委員長】

難易度の欄が、新たにできているが、これは参考までに入れているだけで、最終的に発表する際はこの欄はなくなるのか。

【事務局】

公表する際は非表示でよいかと思う。

【委員】

難易度の判定はどなたが行ったのか。

【事務局】

事務局で行った。どうしてこの難易度なのかという場合は聞いてもらえれば答える。

【委員長】

他に何かある方。

【委員】

完了の◎があるものはここまでに完了させましょうということだと思うが、完了せずに期限を超えてしまうということもあると思う。それも含めて評価していけばよいのか。空いている欄は今後追加していくということか。

【事務局】

この欄は毎年毎年見直しを行い、新しい項目が出ればまた追加していこうと思う。

【委員長】

他に何かある方。

（特になし。）

では説明を続けてもらいたい。

【事務局】

とりあえず 22 番まで続けて説明してよいか。

【委員長】

よい。

【事務局】

3 「既存公共施設を活用したサービス窓口の開設の検討」

公共施設の中でサービス窓口が設置可能な公共施設がないか検討を進めていく。

前期5年で①実施可能なサービス、メニューの検討をし、②対象（モデル）施設の選定③サービスの施行・結果のフィードバックを行っていく。システム面での課題もあり、実際の実施をしていくのはなかなか難しいと思われる。

4 「計画的な図書館の修繕・改修の実施」

建物の異常箇所の早期発見と早期対応を進めるとともに、現行法の基準、施設の老朽化に対応した予防的な修繕の計画的な実施を進め、快適な図書館環境を維持していく。振り返り項目の部分で年度の実施した内容を説明する形としたい。

5 「中央図書館のリニューアルの検討」

これは後期5年で検討となっている。老朽化対応及び図書館の役割拡大への対応を含めて、中央図書館のリニューアルの検討を進める。

（22番まで説明）

【委員長】

では70項目のうち22まで説明をいただいた。これについて意見を求めたい。

【委員】

8の障壁について「術面的側面」となっているが、「技術的側面」ではないか。

【事務局】

訂正する。

【委員】

8の障壁の「セキュリティ面での成熟化」とあるが、成熟とは自然にレベルが上がっていくという意味であり、セキュリティが成熟するというのは不

自然な気がする。セキュリティは強化していくものではないか。

【事務局】

これは課題という点なので、セキュリティが成熟してこないうちは難しいという意味合いで書いている。

【委員】

10 館内の安全維持の結果の欄の 38、39、40 の下の線が抜けてしまっている。

【事務局】

修正する。

【委員】

19 開館日と開館時間の検討について。今土日は中央図書館は 17 時閉館となっているが、もう少し遅くまで延ばしてもよいのではないか。中央図書館は現在金曜日が休館日だと思うが、アンケートなどを行うのであれば金曜日の休館日が是が非か聞いてみてもよいのではないか。市民の意見を聞いて変更可能なかどうか伺いたい。それによって検討内容も変わってくると思う。

【事務局】

金曜日を休館日に定めた経緯もあり、何曜日にしても意見は出ると思う。先の話にはなると思うが、休館日は月に 1 回や 2 回にするなどのことも含めて随時利用者ニーズについては確認していきたいと思う。だが、今すぐ金曜日から他の曜日に変える必要性を今は感じていない。開館時間について中央図書館は土日を 17 時でということで運営しているが、開館時間延長については議会でも意見をいただくことがある。コスト面についても検討をし、場合によっては延長を行うこともあるかもしれない。土日も 17 時以降開館している図書館は三多摩ではあまり多くはない。ただ、吉祥寺とプレイスは駅前ということもあり、そこは開館時間を伸ばした。吉祥寺図書館の来館者数なども踏まえ、検討していきたいと思う。

【委員】

吉祥寺図書館とプレイスの開館時間はどのようになっているのか。

【事務局】

プレイスは 22 時、吉祥寺は 20 時まで開館している。

【委員】

ずいぶん遅くまで開いている。

【事務局】

遅くまで開きすぎだという意見もある。

【委員】

22 時までやっているのだったら中央も 19 時くらいまで開いていてもよい気がする。

【委員長】

もともと夜間開館ができたのは平日はサラリーマンが 17 時閉館では通えないということで開始された。土日ならば通える。土日の開館時間延長は要望としては多くあるのか。

【事務局】

たまにある。利用者の声では、そこまで目立つほどではない。

【委員】

あまり分かっていなくて申し訳ないのだが、中央図書館の運営形態の検討に関して、指定管理の導入に関して、具体的な検討は始まっているのか。

【事務局】

今後どうするか本委員会で検討を行ってほしい。検討のために必要な資料はこちらで用意できるものは用意していきたい。指定管理の導入を行っている自治体などの調査も行っていきたい。吉祥寺とプレイスの指定管理の評価もある程度は形になるようなものを示していきたいと考えている。状況としてはよくできていると思っているが、具体的に評価できる箇所というものを示したい。それも含め、今後中央図書館の運営形態について検討をしていただきたい。

【委員】

議会ではどのような声が出ているのか。

【事務局】

特に指定管理にしないという声は上がっていないが、指定管理にしない方がよいという意見は党派によっては上がっている。

【委員】

7について。図書館システムが5年毎の更新で、次回32年度更新ということだが、それに向けての具体的なものをもう少し増やしてもよいのではないか。ここの目標・指標の項目はもう増やせないものなのか。

【事務局】

それに関しても意見を言っていて構わない。

【委員】

図書館としてどのようなものを情報発信していきたいのかというものをここに入れていき、それに対しての評価をしていけるとよいのではないか。あまり細かすぎても違うのだろうが、少し具体性がないのが気になった。例えば簡易に情報発信というものは、職員がすぐに書き込んで発信できるようなシステムを選びたいというのを書いてもよいのではないか。

【事務局】

①に何をしたいのか、どのような目的で検討するのかを入れるというのはどうだろうか。

【委員】

それがよいと思う。

【委員】

7 図書館情報システムの更新というところで、HP と次期システムのリンクページはどのようなになっているのか。

【事務局】

セットで行っている。HP の一部に検索したり予約したりするシステムも入り込んでいるため、必ずセットで行っている。

【委員】

セットで行うのであれば、①と②で時期がずれているのはおかしいのでは

ないか。

【事務局】

②は正確には次次期システムということである。32年に今あるものから新しいシステムに更新する。そのタイミングで◎になっている。

【委員】

それは5年というのは決まっているのか。

【事務局】

決まっている。

【委員】

この入替というのは大幅なものではなく、簡単なアップデート程度で行えるものなのか。

【事務局】

アップデートは今のシステムで随時行っている。例えば今のメーカーから替えるかどうかなどを検討するのが5年に一度ということである。

【委員】

過去にはどのような経緯をたどってきたのか。

【事務局】

メーカーは最初に入れた時から変わってきている。5年毎に見直しを行うタイミングがあるということである。利用者の方も慣れているため、あえて替える必要もないだろうということになれば、替えないということもあるかと思う。

【委員】

私は今のシステムに特に不満はないのだが、職員の方はここが不便だから直したいという要望はあるのか。

【事務局】

細かいことであれば結構ある。ここでOKを介させるのはおかしいのではないかなどの要望は結構ある。また、利用者の方の使い勝手と、職員が作業する際の使い勝手は違っている。また、HPなどのウェブデザインが上手な

メーカーとそうでないメーカーもある。図書館としてはどうしても HP とシステムをセットで入れないとダメなため、どこかは目をつぶらなくてはならない部分も出てきてしまう。

【委員】

今のシステムは 3 館同じものを使っているのか。

【事務局】

同じである。ただ、プレイスの施設システムはまた別にある。会議室の予約などはまた別のシステムを使用している。

【委員】

その現行システムの 5 年間ごとの評価ができるような項目があってもよいのではないか。これだと次期についてのみの評価になってしまうので、使っている最中の現システムについての評価もあってもよいのではないか。

【事務局】

31 年度の○を現システムの評価ととらえてほしい。

【委員】

8 の①の最後の「る」が落ちているのではないか。

【委員】

画面では入っている。印刷面で落ちてしまっている。

【委員】

16 の障壁の部分に配置人員の余裕がなく、研修に出かけにくい環境と書いてあるため、目標に参加と書いてあるが、まずは①に出かけにくい環境をどうするかということを書かないと参加できないのではないかと思う。その上の 15 だとまず計画を改訂し、実施するとなっている。出かけにくい環境も分かるのだが、そこをまず改善しないとダメだと思う。

【事務局】

具体的に言うと、人員配置のことだけではなく、ちょっとした業務分担の工夫であったり、自分のスケジュール管理次第で行けるようになる研修も出てくるかなと思っている。図書館大会の参加も毎年誰かしらは行っている。

ただ、もう少し行かせたいと思っている。大きな環境改善（人員を増やす）といった話だと図書館だけでは難しいかと思う。環境改善に関しては事業団と共にアイデアを出していきたいと思っている。外部との交換研修に関しては相手のある話のため、検討をしていきたいと思っている。

【委員】

事情は私には分からないので、そちらで決めてもらいたい。

【委員】

今の件に関連して。武蔵野市は図書館の職員も基本的に異動する市と考えてよいのか。だとすると司書率が低くなると思うのだが、司書講習に2ヶ月行ってもらって司書資格を取ってもらうなども考えていいのかなと思うのだが、そのようなことは考えていないのか。

【事務局】

過去にはそのような実績もあるのだが、毎年となるとなかなか難しい。そのため、今回はたまたま講習に行けなかっただけで、BやCなどの評価をしてしまうのも少しどうかと。司書講習に関しては2、3年前に一人受講者がいた。

【委員】

市の職員ではなく、嘱託職員では司書の資格を持っている人は多いのか。

【事務局】

事業団の方では司書資格を採用の条件にしている。中央図書館は必須ではない。中央は28人中15人程度が司書資格を持っている。

【委員】

市の方では、職員の人たちに司書資格を取らせようなどと考えているのか。

【事務局】

まずは図書館に配属されて何年か経ち、本人もその気があれば取らせるということは考えている。

【委員】

希望があれば積極的に取らせるというのは良いが、方針として図書館に配属されたら全員取らせるといった方針はないのか。

【事務局】

そこまでの方針はない。

【委員長】

昔は毎年夏の講習へ1名公費で出すということはやっていたと思うが。今はやっていない。

【委員】

図書館から異動のない図書館専門職といったようなものはあるのか。

【事務局】

ない。

【委員】

検討もないのか。

【事務局】

そのような検討もないと思う。ただ、図書館には経験が必要だということで、昭和62年に司書資格を有することを受験要件とした採用試験を行った。そこで採用された人たちが長く図書館にいたといったことはある。それ以降はそのような採用は行っていない。人事の方針もあるため、そこと調整をしながらという形になる。一定の専門性は必要という認識はしてもらっている。高度な専門性となると、本人の努力も必要であるし、なかなか育成はどこの市も難しいのではないかな。

【委員】

社会人向けの図書館情報学系で夜間や土曜日などを使って行う大学院もあるので、単なる司書資格だけでなく、管理職などを目指すような、指定管理に全部出してしまったときにも経営者になれるような人材の育成もあってもよいのではないかなと思う。ここには書けないが、単なる研修だけでないものも検討してもよいかもしれない。

【事務局】

図書館の現場のことだけでなく、マネジメントといったようなことも学べる機会があるとよいかなと思う。

【委員】

せっかく研修を受けてスキルを身につけた人も図書館を出て行ってしまうというのが本当にもったいないと思う。そこを私たち委員会がどうバックアップできるのか。

【事務局】

出て行ってしまうことが完全に悪いことではないが、ある程度方針を持って異動をさせるということが大切であると思う。市の方で職員がどのような専門性を持つべきなのか検討すると言っている。例えば福祉部門の専門性の確保などと合わせて図書館についても考えてもらいたいと思っている。

【委員】

専門性を育成するといってもそこにだけ特化してしまうとそこだけになってしまう。他のところにも行かせないとレベルアップしない。逆にそこだけにはりついてしまうというのも問題ではないかと思う。

【委員】

今日の運営委員会で全部項目をやるのか。

【事務局】

今日は途中までやり、今回出た修正点を次回示す形としたい。だいたい6月には固めたい。

委員のご都合もあるので先に日程調整だけさせていただく。5月と6月の日程を決めたいと思う。

5月30日と6月24日に決定。両日とも17時半から。場所はまた別途連絡をする。

【委員長】

では項目の23から説明をお願いしたい。

【事務局】

ここから図書館サービスに関する項目となる。

23「一般資料の継続的な収集・整備」

知る自由の保障と、基本的なサービス水準を確保できるよう、蔵書数と蔵書構成を確保していく。これに合わせ、基礎資料の確実な収集と、新刊ベストセラーの複本購入を抑制する。①複本数の抑制の検討②収集方針の見直しについては 31、32 年度で結論を出したいと思う。また、③収集方針の定期的な点検を行っていく。

24「地域特性を活かした選書」

各館の地域特性を活かした選書をすすめるとともに、蔵書の特性を市民に分かりやすく伝えていく。

25「除籍基準の見直し」

限られた書庫を有効に活用するために除籍基準の見直しを行い、適切な蔵書構成を維持する。①限られた書庫を有効活用するための除籍方針、基準の見直しを今年度、来年度で行い、②除籍方針、基準の定期的な点検を行う。

(41 番まで説明)

【委員長】

ではこの 41 までで何かある方。

【委員】

26 オンラインデータベースの強化。「選定を導入を検討していきます」となっている。

【事務局】

選定と導入に修正する。

【委員長】

23 の②の収集方針の見直しということで 32 年に完了するようだが、これは新しい収集方針を作るということか。

【事務局】

今の収集方針を見直し、修正すべきところがあるか検討する。

【委員長】

では完了とはどのような意味か。

【事務局】

修正すべきところがあるかどうかの検討をこの２年で行うということである。

【委員長】

では新しい方針を作るということではないのか。

【事務局】

新しいというのがどのようなものを言うのか。新しい名前にするなどあまり考えていない。今ある収集方針に手を入れる必要があるかどうかということを検討したい。その中には複本数の抑制などについても書きたいと思っている。

【委員】

26②のタブレットの新規設置の検討について。タブレットはどのような位置づけで設置を考えているのか。

【事務局】

そこも含めてこれから検討をしていきたいと思っているのだが、今考えているのはタブレットを貸出し、有料データベースを見ることで、学習に使っていけないかと思っている。

【委員】

タブレットはWiFiがないと使えないと思うが、そこはどうか。WiFi環境はプレイスにはあったと思うが、中央と吉祥寺はどうか。

【事務局】

吉祥寺にもある。中央のみない。32年に◎をつけており、システムの入替もあるため、そのあたりで入れていきたいと思っている。ただ、WiFiを入れてどのような運用をしていくかまだ検討がされていないため、そこも合わせて検討をしていきたいと思う。現在は、パソコンを使える場所を限定しているため、WiFiを入れた場合、その席をどうするのかなども検討し、導入していかなければならないと思っている。

【委員】

29 も 37 年に◎が入るのではないか。

【事務局】

入っているところと入っていないところがあるかもしれないので、合わせるようにする。

【委員】

37 について。私は遠くて実際に利用したことがないのだが、あそこは一般に貸出もしているのか。

【事務局】

行っていない。

【委員】

貸出のシステムはないということか。

【事務局】

ない。

【委員】

貸出のシステムがないと連携ができないのではないか。

【事務局】

ふるさと歴史館の資料ということになると歴史館の利用規定の範囲でということになってしまう。ふるさと歴史館と図書館で収集するものの整理をしていきたいと思っているということがここに書いてある。

【委員】

今は3図書館で予約をして貸し借りができる。歴史館ではそのようなシステムは通っていないためそのような仕組みができないということか。歴史館の資料が見たいから、システムで予約をする、ということとはできないということか。

【事務局】

歴史館は市の文化財などが置いてある施設である。

【委員長】

文化財や公文書、古文書などが置いてある施設である。そのようなものは一般的に貸出は行えない。資料の性格からしてオンラインにするべきものではないと思うが。

【事務局】

ただ、どのようなものがあるのか公開できるものは公開したいと思うが。

【委員長】

他に何かある方。

【委員】

今のふるさと歴史館の話と関連して。武蔵野市はそこまでお金には困っていないと思うが、デジタルアーカイブを行う際に、手段として市の財政に負担をかけないような仕組みで行えるとよいと思う。

【事務局】

ありがとうございます。図書館振興財団などの補助金もあるようなので、実際に活用している自治体なども見て検討していきたいと思っている。

【委員】

収集方針に関して。武蔵野市は基本的にコミックに関しては収集しないと書いてあったが、どのような感じなのか。

【事務局】

コミックは一定の評価がなされた場合には入れている。現在 6,700 冊程度所蔵している。なくなったり、傷んだりすることが多いので中央図書館の書庫に置いてある。夏休み中などはカウンター近くに出している。

【委員】

書庫を見せてもらった時にコミックはかなりあり、有名なものはほぼ持っていると思う。オープンにはなっていないので、自分で検索しないといけない。

【事務局】

ある程度書架に出してもよいのではないかとといったことも意見として検討

したいと思う。ただ、今は場所が決まってしまっているのでどこに置くのかという問題となり、すぐにはできないと思う。

【委員】

収集方針の見直しという項目があるのでそこで検討すればよいと思うが、一般の収集方針の方では「コミック」類は収集しないとなっているが児童図書とヤングアダルトの場合は「マンガ」となっている。文言はある程度統一した方がよいと思う。

【事務局】

一般図書としてはコミック類は原則として収集しないとしている。

【委員】

地域特性に応じた選書とあるが、各館の特色をつけているのか。

【事務局】

明確な分担収集というものはまだ確立できていない。ただプレイスは複合施設であるため、コーナーを設けていたり開館当初には地下2階に芸術のコーナーを配置したため、そのような分野に力を入れていこうということもあった。吉祥寺図書館はリニューアルの際に地域のハイパーコンテンツ、吉祥寺に関連するものはパンフレットなどでも積極的に集めていこうということでオープンした。そのようなことも書ける部分は書いていきたいと思う。

【委員長】

他に何かある方。

(特になし)

【委員長】

では事務局の方からその他の説明をお願いしたい。

6 その他

【事務局】

今回計画を策定し、色々と宿題が残ったような形となっている。中央図書館の運営形態だったり、資料収集方針だったり、除籍の問題、市民サービス水準の検討だったり。そのような話を運営委員会で諮りながら進めていくた

いと思っている。色々日程を密にして作成したものが資料2である。どこか参考になる図書館を見に行くといったこととしてもよいのかなと思っている。9月に運営委員会の新しい期に入るということもあるので、7月の視察などの日程は後の期の委員にずらしてもよいかなと思っている。ただ今の期で7月に視察をしてもらっても構わない。日程としてはこのような形でいかがだろうか。

【委員】

この近辺で何か参考になる図書館があるのか。

【事務局】

ポイントを絞ってから行きたいと思っている。今後課題となる指定管理をやっている所、あるいはやらないと言っている所、あるいは新設の図書館に行くというのもあるかと思う。三多摩でも全館指定管理を行っている市もあり、逆に直営でという考えの市もある。外郭団体に指定管理を出している図書館などもある。また、例えば蔵書構成や選書に関することであればどこかここはしっかりやっているとあったような所があれば教えていただきたい。

また、事務局だけで視察に行き、資料として出すということもあると思う。

【委員】

私は任期が残り少ないのだが、この機会を利用して他の職員の皆さんにも一緒に来てもらえるとよいと思う。委員だけではなく、職員もレベルアップのできるよい機会だと思う。

【事務局】

どこか希望の場所はあるか。

【委員】

お任せする。図書館の皆さんが行きたいと思う場所に行けばよいと思う。自分は特にない。図書館の職員が行きたい場所に委員がのこのこついていくというスタイルでよいと思う。

【事務局】

では7月か8月あたりで考えたいと思う。会議全体としてはこのぐらいの回数で開催したいと思う。

【委員】

新しい委員の方にも成果をしっかり引き継げるような形でお願いしたい。

【委員長】

他意見がある方。

(特になし)

【委員長】

以上で、第4回図書館運営委員会を閉会する。